

令和8年度の 新型コロナワクチンの定期接種に関する広報について

厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部

予防接種課

令和8年度新型コロナウイルスワクチン定期接種に関する周知方針

- これまで、厚生労働省HPやSNS等で、新型コロナウイルスワクチンの有効性や安全性について、科学的根拠に基づいた情報提供を行ってきたところ。
- 今年度の新型コロナウイルス定期接種に関する周知についても、自治体や学会、企業と連携して以下の通り周知することとしている。

昨年度の取組

【厚労省HP・SNSによる情報発信】

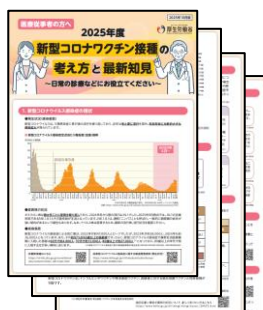


【情報提供資材（チラシ、動画等）の作成】

【対象者向け】



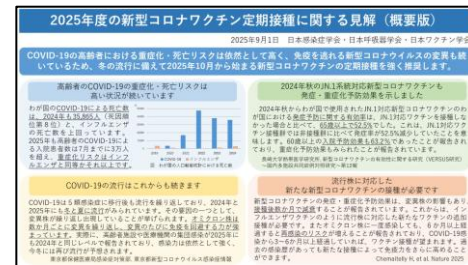
【医療従事者向け】



【動画】



【学会と連携した情報発信】



今年度の方針

【行政(国・自治体)】

- ・ 定期接種の対象者に新型コロナウイルスワクチンの有効性、安全性等の情報を分かりやすく伝えることを目的としたチラシ、ポスターを最新の知見を踏まえ更新
- ・ 定期接種の対象者により周知できるよう、自治体等に対して資材の掲示場所、掲示例などの具体的な資材の活用方法について周知
- ・ ホームページやSNSを活用した科学的根拠に基づく情報発信を継続

【学会との連携】

- ・ 昨年と同様に学会*と連携してワクチン接種に関する見解を公表 ※日本感染症学会、日本呼吸器学会、日本ワクチン学会

【ワクチン製造販売企業との連携】

- ・ 企業が取り扱うワクチンを接種することができる医療機関の情報を、接種希望者からの問い合わせに対して個別に提供する問い合わせフォームやコールセンターの仕組みを企業が構築するにあたり、厚生労働省から助言

参考：令和7年度新型コロナワクチンに関する情報提供資材

○令和8年度も同様の定期接種対象者、医療従事者向けに、視認性が高く分かりやすいチラシ、ポスターを作成予定

【対象者向けチラシ】

**65歳以上の方などを対象に
新型コロナワクチンの
定期接種を実施しています。**

新型コロナウイルス感染症とワクチンについて

- 新型コロナによって重症化する割合は、65歳以上の年代で高いため、この年代の方を対象に、10月から定期接種を実施しています。
- 感染後多く経過しているN.B.1.8.1(ニバス株)にも効果が期待されることが報告されています。
- 研究や調査方法の違いにより差があるものの、高齢者における新型コロナウイルス感染症の重症化リスクはインフルエンザと同等かそれ以上という報告があります。
- 2024年の新型コロナによる死亡数は約36,000人であり、インフルエンザによる死亡数の約2,900人を上回る数となっています。

接種対象者

- 1 65歳以上の方**
接種できる期間 **10月1日～翌年3月31日**
- 2 60～64歳で**
心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり身の回りの生活を極度に制限される方。
- 3 60～64歳で**
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり日常生活がほとんど不可能な方。

使用するワクチン

(今年度の定期接種で使用できるワクチン) 順不同

mRNAワクチン	組換えタンパクワクチン
・ファイザー社・モデルナ社 ・Meiji Seikaファルマ社(レプリコンワクチン)	・武田薬品社

各ワクチンの特性等の詳細についてはこちら: https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa.html

レプリコンワクチンについて
レプリコンワクチンはmRNAワクチンの一つで、接種されたmRNAが細胞内で一時的に複製されるように設計されています。他のmRNAワクチンに比べてウイルスタンパク質の量が少なく、より強く免疫が誘導され、抗体の持続期間が良いことが確認されています。mRNAの複製は一時的なものであり、複製にウイルスタンパク質の量が作られることはなく、これまでに、レプリコンワクチンを受けた方から他のワクチンの成分が検出するという科学的知見はありません。

厚生労働省

【医療従事者向けチラシ】

**医療従事者の方へ
2025年度
新型コロナワクチン接種の
考え方と最新知見
～日常の診療などにお役立てください～**

1. 新型コロナウイルス感染症の現状

●発生状況(感染者数)
新型コロナは、5類感染症に移行後も流行を繰り返しており、近年は冬と夏に流行を認め、年末年始に比較的大きな感染拡大が見られます。

■ 新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数(全国)推移
2023年5月 2025年4月～

●重症化の状況
オミクロン株は数カ月ごとに変異を繰り返しており、2024年冬の流行はJ.N.1でした。2025年9月時点では、J.N.1の記録未更新のN.B.1.8.1とその変異株が主流となっています。N.B.1.8.1は、通常「ニバス」とも呼ばれ、一般的に感染後の症状が軽微な傾向があるという報告もありますが、ウイルス株は変異するため、最新の流行株・流行状況を注視ください。

●疾病発生
新型コロナによる死亡数は、2022年で約47,000人とピークでしたが、2023年が約38,000人、2024年も約36,000人となっています。また、その約27%が65歳以上の高齢者です。さらに、新型コロナによる感染で重症化し入院した患者は56歳以上が約8,000人、75歳以上が約2,000人、85歳以上が約200人と、高齢者の上昇傾向で特に入院する方が多い傾向にあります。

最新情報はこちら
https://id.mhlw.go.jp/kuriretailer/ids/content/faten_A8/index.html

最新新型コロナワクチンに関する情報提供資料(衛生官)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa.html

【ポスター】

新型コロナワクチンについて改めて考えよう!

知っておきたい5つのポイント

2024年の新型コロナで亡くなった方は約36,000人であり、インフルエンザによる死亡数の約2,900人を上回る数となっています。また、新型コロナによって重症化する割合は、65歳以上の年代で高く、重症化しやすいこの年代の方を対象に10月から定期接種を実施しています。

1 ワクチンの効果
新型コロナによる入院を
約60%予防
国内での、60歳以上の人におけるJ.N.1系統対応1価ワクチンの入院予防効果は、J.N.1系統対応1価ワクチンを接種していない者と比較して63.2%だったことが報告されています。
VERSUS Study 第12報(2025) : Vaccine Effectiveness Real-time Surveillance for SARS-CoV-2 (VERSUS study 第12報)
学術論文研究用 <https://www.bm-nagasaki-u.ac.jp/versus/>

2 接種対象者
65歳以上の方
または **60～64歳で**
心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり身の回りの生活を極度に制限される方。
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり日常生活がほとんど不可能な方。

3 ワクチンの種類
5種類
mRNAワクチン
・ファイザー社・モデルナ社
・Meiji Seikaファルマ社
組換えタンパクワクチン
・武田薬品社
※医療機関によって接種できるワクチンが異なる場合があります。詳細は、お住まいの市町村(特別区を含む)下記にお問い合せください。

4 接種できる期間
10月1日～
翌年3月31日
※自治体によって実施期間が異なる場合があります。お住まいの市町村にお問い合せください。

5 ワクチンの安全性
各社のワクチンの主な副作用として、注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み等が報告されています。また、頻度は不明ですが、重大な副作用として、ショック、アナフィラキシー、心臓炎、心膜炎が知られています。(心臓炎、心膜炎は、mRNAワクチンのみ)

予防接種健康被害救済制度について
予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあるため、救済制度が設けられています。制度の利用を申し込む時は、予防接種を受けたときに住民票を登録していた市町村に連絡ください。

接種のお申し込み・お問い合わせはお住まいの市町村にご連絡ください

厚生労働省
各ワクチンの特性等の
詳細はこちら

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報について、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

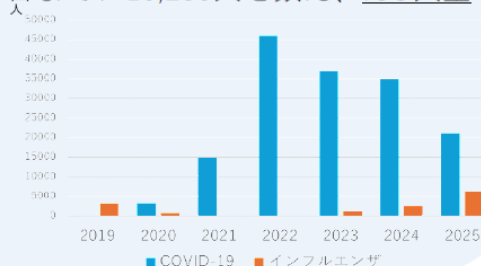
2026年度の新型コロナワクチン定期接種に関する見解（概要版）

2026年9月1日 日本感染症学会・日本呼吸器学会・日本ワクチン学会

高齢者のCOVID-19による死亡者と重症者は依然として多い状況が続いています

わが国のCOVID-19による65歳以上の死亡数は減少傾向にはありますが、それでも2025年は21,003人と、インフルエンザの死亡数6,333人を大きく上回っています。2026年も基幹定点医療機関への高齢者のCOVID-19入院患者数も8月23日までに10,230人を数え、ICU入室や人工呼吸管理を必要とする重症患者も多くみられています。

高齢者にとってインフルエンザの重症化リスクは大きいことが知られていますが、COVID-19の疾病負荷は少なくとも同等かそれ以上です。



2024年度・2025年度の新型コロナワクチンの効果が明らかになっています

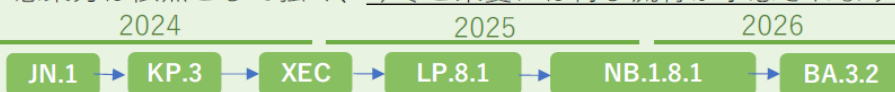
2024年秋からわが国で使用されたJN.1対応新型コロナワクチンのわが国における2024年10月から2025年4月の期間における65歳以上の発症予防効果は44.3%、60歳以上における入院予防効果は61.8%でした。これは、JN.1対応ワクチン接種群では非接種群に比べて発症率が44.3%、入院率が61.8%減少していたことを意味します。また2025年4月から9月の期間の60歳以上の入院予防効果も72.1%であり、秋接種による入院予防効果が翌年の夏まで維持されることが示唆されます。

2025年秋のLP.8.1対応新型コロナワクチンの65歳以上における有効性は海外から報告されており、LP.8.1対応ワクチンを接種していない群と比べた有効率は、米国で救急受診予防効果48%、入院予防効果53%、デンマークで入院予防効果60.6%、死亡予防効果70.1%でした。

新型コロナウイルスは変異を繰り返しておりCOVID-19の流行はこれからも続きます

COVID-19は5類感染症に移行後も流行を繰り返しており、冬と夏に流行がみられています。その要因の一つとして、変異株が繰り返し出現していることが挙げられます。ウイルスのスパイクタンパク質の抗原性は変化を続けており、既感染やワクチン接種による免疫を部分的に回避する性質を持つ系統が流行株となっています。

新型コロナワクチンは高齢者の定期接種になりましたが、接種率は十分でなく、高齢者のCOVID-19に対する免疫は低い状況です。実際に、高齢者施設や医療機関の集団感染が2026年も報告されており、感染力は依然として強く、今冬と来夏には再び流行が予想されます。



高齢者には流行株に合わせた最新の新型コロナワクチンの10月からの定期接種を強く推奨します

新型コロナワクチンの発症予防効果は、変異株の影響もあり、接種後数か月で減衰するため、インフルエンザワクチンのように流行株に合わせた新たなワクチンの追加接種が毎年必要です。

ワクチンを接種してもCOVID-19に罹ることがありますが、発症前12か月以内に追加接種を受けていた人は、最高体温の中央値が有意に低く（37.8℃ vs. 38.2～38.3℃）、発症時の発熱が軽減される可能性が示唆されます。また、ワクチン接種によって罹患後症状（Long COVID）の出現率が23%低下することも報告されています。

以上のことから、高齢者には流行株に合わせた最新の新型コロナワクチンを強く推奨します。なお、以前COVID-19に罹ったことがあっても再感染がみられるため、過去に罹った方にも接種をお奨めします。

ワクチン製造販売企業との連携（順不同）

ひと、暮らし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

国民の適切なワクチン接種検討を支援するため、情報提供機能を拡充 「情報提供」から「接種先の検索」まで、切れ目なくサポートします

ステップ 1

疾患・ワクチンに関する 基礎情報を提供

『ワクチンと感染症.com』



PC版

スマホ版

4つのコンテンツで構成

📖 病気を知る

💉 ワクチンを知る

👤 保護者の方へ

❓ ワクチンQ&A

ステップ 2

新型コロナ感染症に関する 情報を提供



ステップ 3

新型コロナワクチン 接種医療機関情報を提供



**【検索情報提供開始】
9月下旬予定**

1 疾患啓発サイト/広告からリンク

2 接種できる医療機関を探す

ファイザー「新型コロナを学ぶ」サイト



- 定期接種の情報
- 疾病負荷の情報（インフルエンザとの違いなど）
- 重症化リスクの情報
- 予防策についての情報
- 治療についての情報

検索方法を選択してください

✓ 条件を指定して探す

📍 現在地から探す

🔍 キーワードから探す

🚶 路線・駅から探す



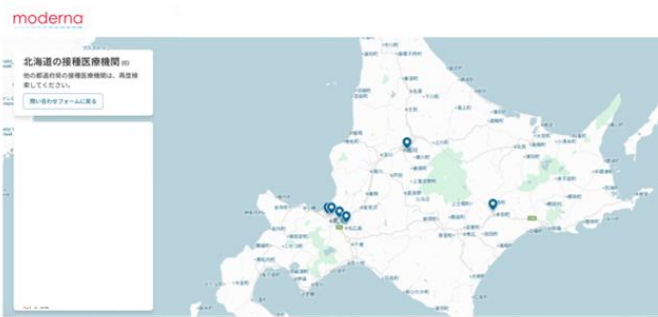
- ご自身やご家族の居住地における新型コロナワクチン接種可能施設の情報を表示
- 各施設におけるファイザー製ワクチンの取り扱い状況を問い合わせ可能

モデルナ新型コロナワクチンの接種医療施設検索サイト

①被接種者サイト/疾患啓発サイトに接種医療施設検索サイトを掲載

②お問い合わせフォームに入力

③当該地域の施設表示



● 次世代mRNAワクチンの情報サイトを継続して運営します



① 新型コロナワクチン（コスタイベ以外も含む）を
接種可能な医療機関を検索することが可能



新型コロナワクチン
接種医療機関一覧

新型コロナワクチン接種医療機関一覧

当サイト内に掲載している医療機関は、メーカーによらず新型コロナワクチンを取り扱っている医療機関を順次掲載しております。なお、次世代mRNAワクチン（コスタイベ筋注用）を取り扱っている医療機関は、右下の問い合わせフォームにアクセスください。

都道府県 ▼

市区町村 ▼

検索する

② 次世代mRNAワクチン（コスタイベ筋注用）を
接種可能な医療機関を検索することが可能

③ コールセンターへの
問い合わせも可能

次世代mRNAワクチン
（コスタイベ筋注用）を
接種可能な医療機関



問い合わせはこちら →

次世代mRNAワクチン（コスタイベ筋注用）を接種可能な医療機関を検索
できます。接種を希望する都道府県を選択してください。

都道府県 ▼

市区町村 ▼

閉じる

検索する

お電話でのお問い合わせ

Meiji Seika ファルマくすり相談室

(0120) 093-396

平日9時～17時(土・日・祝日および当社休業日を除く)

『コロナ情報館』は新型コロナウイルス感染症について知ってほしい情報をご案内



『お問い合わせ』をクリックすると
ポップアップが表示されます



お薬やワクチンに関する問い合わせに加えて、市区町村単位
での武田薬品製ワクチンの接種可能施設が閲覧可能

